

医療法人むつみホスピタル



むつみの道を共に歩み、
人生をより豊かなものとし、
今を語り合って生きる

事業所データ

所在地：徳島市南矢三町三丁目 11-23

電話番号：088-631-0181

設立：1959年

従業員数：239名（男性66名・女性173名）

事業内容：診療科 / 精神科・心療内科・小児科・内科
認知症疾患医療センター地域型

関連施設：就労継続支援B型ネクスト、自立訓練事業所ウイスピー、相談支援事業所ピオス、訪問看護ステーションピオス、レストランピオス

① むつみホスピタル

Rolemodel 1

相談支援事業所ピオス **永泉 裕香**さん（勤続14年）



1986年生まれ 徳島市出身
大学卒業と同時に精神保健福祉士、社会福祉士の資格を取得し、城西病院（現在のむつみホスピタル）へ入職。現在は2児の育児に奮闘しながら、日中は障がいをお持ちの方の自宅等を訪問し、日常生活で困っていること、不安に感じていることなどの相談や障がい福祉サービスについてご相談、調整を行っています。

これまでの職歴・体験談など

生活訓練施設 支援員

精神科デイケア スタッフ

精神科病院 地域連携室 相談員

就労継続支援B型事業所 生活支援員

相談支援事業所 相談支援専門員

平成21年4月入社後、精神障がいをお持ちの方を中心に様々な部署で関わらせていただき、現在働いている相談支援事業所では身体、知的、精神、難病

などをお持ちの方（児童から大人まで）の生活面のご相談を伺っています。

仕事と家庭を両立するための周囲からの支援

我が家は共働きです。子どもの急な病気の時には夫と相談して調整をしてお休みをいただいています。仕事で遅くなった日にはお迎えや習い事の送迎をお願いしたり、家事も分担して行っています。二人でどうしてもない時には祖父母の助けも借りて、預かってもらったり、習い事の送迎もお願いしたりして、子供たちも祖父母が大好きです。2人目が出来てからはより一層スケジュール管理や体調管理が難しいですが、周囲の方々の助けを借りて、お仕事をさせていただいています。

次世代の方々へのメッセージ

2人目出産後、フルタイムで働くことへ不安もありましたが、今は周囲の方々のご協力もあって、両立させていただいています。仕事は忙しく目が回りそうなこともありますが、当事者の方やご家族のご相談をお聞きし、関係機関の方と一緒に解決したり、安心して生活が送れているお話を聞くとやりがいを感じています。

case10

Rolemodel 2

地域連携室 **新開 愛子**さん（勤続17年）



家族構成：夫、長男：9歳、長女：5歳の4人家族
趣味：おいしいものを食べること
休日の過ごし方：子どもたちと公園に行ったり、長男のサッカーの試合を見に行ったり、Netflixで映画鑑賞してのんびり過ごしています。

これまでの職歴・体験談など

大学卒業後、精神保健福祉士としてむつみホスピタルへ入職しました。入職後、法人内の異動が定期的にあり、施設や相談支援事業所、デイケアや病院内の地域連携室等、様々な部署の仕事を体験させていただきました。患者様や利用者様の生活を支援させていただく仕事の中で、職場内だけでなく関係機関の方々とも関わる機

会が多く、みなさんとお話の中で色々な考え方に触れ、新しい発見が多い仕事だなと感じています。

仕事と家庭を両立するための周囲からの支援

家族の支えが大きいです。

仕事で遅くなった時は近くに住んでいる夫の両親にお迎えに行ってもらったり、夕飯をご馳走になったりしてとても助けられていますし、土曜日が仕事の時も自身の両親が子どもを見てくれているので、安心して仕事に行くことができています。夫も休みの時は子育てや家事を率先して行ってくれて、仕事を続けられているのも家族の協力のおかげだなと日々感謝です。

次世代の方々へのメッセージ

就職して十数年経ちますが、日々悩むことが多くなかなか理想通りにはいかないことも多いです。でも上司や同僚に話を聞いてもらったり、いろんな意見を聞いてみると、自分の思っていることが整理されたり、なんとかなるような気がしてきたり…最近では悩む時間も大切だなと思っています。



スタッフミーティング



地域連携室 室長 水本 多恵さん

女性活躍を推進するにあたって、あなた自身が感じた課題や苦労は？

私自身も育児と仕事の両立で悩んでいた時期もありましたが、仕事のやりがいがあることや、育児を協力してくれる家族等がいることで、現在まで続けてくることが出来ました。職場の仲間も子育てと仕事の両立に理解があり、子供の体調不良等での急な休みの時なども、休んでいる間の業務サポートをしてくれてとても心強いです。スタッフみんなが、仲間を大切にできる職場だと感じています。

同僚からの声 1日1回は部署で集まって申し送りをしています。女性が多い職場で、仕事のこと以外にもプライベートなことも相談がしやすく助けられています。多趣味な人が多く、法人内でスイーツクラブやランニングクラブ等のクラブ活動があり、私生活に役立つ情報を貰うことも多いです。

医療法人むつみホスピタル

代表者からの声

医療法人むつみホスピタル
理事長 井上 秀之さん



「今を語り合って生きる」この言葉は、当院の理念「むつみの道」の一節です。
同僚と、患者さんと、そして自分自身と向き合い、語り合うことで私たちは成長・成熟していきます。精神看護学、精神医学、心理学、リハビリテーション学、社会福祉学など様々な対人支援学を幅広く学び、共に語り合う場所、それが、むつみホスピタルです。
それぞれの専門性を深め、他の専門性に敬意を払い、目の前の患者さんには一人の人間として向き合っ、時にはぶつかり、時には寄り添い、共に歩んでいく。ここでの経験が、皆さんの人生において有意義な多くの気づきにつながることを期待します。

事業所からの声

女性従業員が活躍する取り組みはありますか？

多様な働き方に対応しワークライフバランスが充実した新人事制度の開始。ワークライフバランスのさらなる充実に向け、IT等を活用したテレワークの実施。両立支援制度の取得促進のため、管理職研修、検討会議の実施。

- ・管理職に占める女性労働者の割合 75.0% (12人)
(管理職全体 (男女計) 16人)
- ・役員に占める女性の割合 50.0% (3人)
(役員全体 (男女計) 6人)
- ・育児休業取得率 (看護職)
男性：100%、女性：100% (専門職) 女性：100%
※専門職は配偶者が出産した男性労働者なし、一般

職対象者なし)

- ・年次有給休暇の取得率 (看護職) 99.6%
(専門職) 102.1% (一般職) 98.8%
※ R4年度に初めて有給休暇を付与されて1年未満の者を除く

女性の活躍について成果や課題、今後の方向性について。

女性活躍のため、育児休業取得後も職場復帰し、子育てしながら働くことができる職場環境づくりを整えることは勿論のこと、401K導入、ハローワークとの障がい者支援協定、研修制度・人事評価刷新、メンター制度 (ANEgo) 導入、週休2日制への移行など、より働きやすい職場作りに動んでいます。

企業の人材確保・定着に役立つ 認定制度のご案内 (くるみん)

厚生労働省は、雇用管理の改善に取り組む事業主の皆さまを支援する認定制度を設けています。認定を取得すると、働きやすい職場環境の整備につながり、企業の魅力向上や人材確保・定着などに役立ちますので、ぜひご検討ください！

くるみん認定制度 子育てサポート

- ・「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定制度。一般事業主行動計画の策定・届け出を行った事業主のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を厚生労働大臣が「くるみん認定企業」「プラチナくるみん認定企業」「トライくるみん認定企業」として認定します。
- ・不妊治療と仕事との両立支援に取り組む企業を認定する「プラス」認定制度も始まりました。



「くるみんプラス」「トライくるみんプラス」「プラチナくるみんプラス」



「くるみん認定」「トライくるみん認定」「プラチナくるみん認定」

くるみん認定制度のメリット

- ・自社の商品、広告などに認定マークを使用できる
- ・くるみん助成金 (300人以下の企業) が受けられる
<https://kuruminjosei.jp/>
- ・日本政策金融公庫からの低利融資が受けられる※
- ・公共調達で加点評価が得られる※
※詳しくは「3つの認定制度のご案内」を検索、ご覧ください。



↑くるみん助成金ポータルサイト

- ・行動計画の外部への公表及び両立支援に関する情報公表の掲載先として「両立支援のひろば」を是非ご活用ください。
- ・先行する他者の取り組みを検索、閲覧し、自社の行動計画を策定する「ヒント」とすることもできます。



←次世代育成対策推進法

